

令和7年度前期

園生活及び園経営に関する保護者アンケート集約

保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたアンケート結果の集約を報告いたします。(数字は%)アンケート結果を分析・考察し、より充実した保育のために活かしていきたいと考えております。今後も本園教育活動へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

	項目	4 そう思う	3まあそう思う	2あまり思わない	1思わない
1	子どもは、喜んで登園している。	79.7	19.5	0.8	
2	子どもは、進んであいさつや返事をしようとしている。	34.7	50	14.4	0.8
3	子どもは好きなあそびやしたいことにじっくりと取り組もうとしている。	72	27.1	0.8	
4	子どもは、あそびの中で、友だちに自分の思いを伝えたり、折り合いをつけたりしながら関わっている。	43.2	49.2	7.6	
5	子どもは、家庭で幼稚園でのできごとを話している。	49.2	44.1	6.8	
6	子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣など、基本的な生活のリズムが整っている。	63.6	30.5	5.1	0.8
7	子どもは、読み聞かせしてもらうことを楽しみにし、よく本を見ている。	69.5	26.3	4.2	
8	園は、教育目標にある「主体的に生きる子ども」の実現に向けて努力している。	74.6	25.4		
9	園は、「子ども理解」に努め、一人一人の育ちを大切に保育している。	78	19.5	2.5	
10	園は、避難訓練や環境整備、マニュアル作成などによって「命を守る」対策ができている。	87.3	11.9	0.8	
11	園は、子育てトーキングや個人面談などを通して、子育ての相談ができる体制を整えている。	79.7	19.5	0.8	
12	園は、園内の遊具・施設などの教育環境を、整備している。	73.7	24.6	1.7	
13	園は、園便りや園長だより、さくらメール・ホームページなどを通して、必要な情報提供をしている。	78	22		
14	園は、保護者の参画を教育活動に活かせている。	68.6	31.4		

＜令和7年度前期アンケート結果の考察＞

14あるアンケート項目の内、回答者全員から肯定的回答を得られた項目として、8、13、14が挙げられた(赤色)。いずれも全体的な園経営に関することがある。その一方で、子ども、保護者個々人に寄り添った保育や対応に課題が見られると受け止め、全体と個人との両方に力点を置いた保育に努めていきたいと考える。

肯定できない意見が1割程度ある課題のある項目として2の「進んであいさつをしようとしている」が挙げられた(黄色)。今後も家庭との連携を図りながら、改善できるように努めていき、保育者も自ら気持ちの良い挨拶を行うことで、挨拶が人と人を結び、自分も相手も気持ちが良いと感じられるものであることを体験させながら経験値を向上させたい。また、対話的な活動を一層大切に扱いたいと考える。

園の重点目標にある「共にそだつ」を達成するため、これからも日々の保育を振り返り、子どもの姿を確実に見取り大切にしながら、地域のモデル園としての公的役割を果たせるように努力していきたいと考える。